

僕は生き物カメラマン

自然の中で生き物の写真を撮るのが僕の仕事だ

写真絵本や図鑑などいろいろな本を作るので

時には山奥や南西諸島にも生き物に会いに行くけど

毎日通うのは神奈川県相模原市とその周辺地域にある山や川

自然と人の暮らしを繋ぐ「**里**」の環境だ

人の暮らしに近い環境じゃ生き物が少ないでしょ？なんて言われることもあるけど

実はその逆！あまり人のいない山奥や溪流に入りこむよりも

人の暮らしとの境目にあたる「里」を

好んで暮らす生き物ってとても多いんだよ

人が水田や畑で稲や野菜を育てているそんな里の環境は

生き物にとってもものどかで暮らしやすい「**いごこちのいい場所**」なんだ

目次

僕は生き物カメラマン.....2

田んぼのいごこち.....3

コラム 田んぼと山を繋ぐヘビ.....25

山際のいごこち.....27

コラム 山際と水辺を繋ぐヒキガエル.....48

水辺のいごこち.....51

コラム 里のきのこ.....72

人里のいごこち.....73

僕はつづけるよ.....94



古くから稲作が行われている田んぼという環境

人が米作りのために整地したこの環境は自然とは言えないのかもしれないけど
毎年田んぼに水が張られると色々な生き物が待ってました！と集まってくるんだ

一時的にできた広い面積で陸と水辺をつなぐこの環境は

生きるために水と陸とその境目が必要な生き物にとって理想の環境

稲の生長する足元をよく見ると

そこではヤゴがトンボになりオタマジャクシがカエルに

色々な生き物たちの命が育まれている現場なんだ



イトトンボ はのんきに卵を産む準備をはじめてる
田植えが始まればしばらくの間 水がなくなるのを知っているんだ



水があるうちに田んぼに産卵するのはカエルもいっしょ
ほら畦道の草陰でトウキョウダルマおげみちも鳴き始めた

鳴き声を聞きつけて別のオスがやってきた



この岩は俺の縄張りだ どけどけと襲いかかる



落とされてたまるか!!!



落とされて
たまるか...



俺の負けだ 逃げろっ



やったぞと
勝名乗りしているその横で...



負けた方のオスが
メスをしっかりゲットしているなんてこともある
人生そんなものだよなあ



ああ~それにしても
虫がうざいな...





そんなことを思いながら
稲とヒガンバナのコントラストが綺麗きれいだな〜と眺めていたら
ナミアゲハが蜜を吸いに飛んできた



カマキリはこの時期チョウがヒガンバナに集まるのをよく知っているみたいだ

僕はつづけるよ

僕はただの生き物カメラマン

有名になること 偉えらくなること お金持ちになること
そんなことには少しも興味がない

僕が感じたままに色々な生き物の魅力や
生き物の暮らしを ただみんなに伝えたいだけ

どうやって伝えるのかって？

僕の選んだ方法はたくさんの本を作ること
そんな中でも一番思い入れが強いのは「子どもの本」
生き物がたくさん登場する写真絵本さ

身近な自然にはこんな生き物があるんだよ！
ペットで売られている生き物はこんな生き物なんだよ！
動物園や水族館では生き物とこんな付き合い方をしているんだよ！
嫌われがちな生き物にだってこんな魅力が隠れているんだよ！
ってね
ただただ偏見なく色々な生き物やその暮らしを見てもらいたいんだ

でも生き物を大切に見守ろうとか自然環境を保護しよう
なんてことを押し付けるつもりはないよ
だって保護を声高に唱えて人と自然を分断してしまうことで
子ども達が生き物から興味を失うことのほうが怖いよ

それよりも僕の本をきっかけに
自然と触れ合い 生き物を捕まえてみたり飼育してみたり
動物園に足を運んで直に見ることで
実在する生き物たちをもっともっと近い存在と感じ
それらが住む自然に興味を持ってもらえるといいな

大切なのは 本を見た人が自分で
その生き物や自然のことを考えて意識してもらおうことだからね

そんなことを思いながら本作りを続けていたら
あっという間に時が経ち
カメラマンとして20周年を迎えてしまいました

生き物カメラマンを生業に
それだけでやっていくのは少し大変だったりもするけど

子ども達が生き物のことを忘れてしまわないように
大人たちが生き物のことを大切に思えるように
これからも生き物のことを写真で本で伝えるつもり

だからもう少し 生き物カメラマンを続けることにするよ

松橋利光

